



泉区民児協だより

いずみのぬくもり

第1号

平成24年11月発行

泉区民生委員児童委員協議会 泉区和泉町4636-2 電話045-800-2401 会長 大貫 芳夫

# 「民生委員・児童委員、主任児童委員」は地域の身近な相談役

**質問** 民生委員・児童委員、主任児童委員ってどんな人？

**お答** 地域から推薦されて、住民の立場に立って福祉のことなどの相談に乗ってくれたりするボランティアなんです。



民生委員・児童委員は、それぞれ地域の自治会町内会（主任児童委員は連合自治会町内会）からの推薦を受けて、厚生労働大臣と横浜市長から委嘱されています。泉区は横浜市18区の中で、唯一欠員がなく、182名（平成24年7月1日現在）が担当地域ごとにさまざまな活動をしています。

任期は3年間で、今回は平成25年12月に一斉改選予定です。



泉区民生委員児童委員協議会  
会長 大貫 芳夫

日頃は民生委員・児童委員の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

このたび、泉区民生委員児童委員協議会では、「泉区民児協だより」を年1回発行することといたしました。

皆様がお住まいの地域には、それぞれに担当の民生委員・児童委員がおり、社会福祉の増進に向けた様々な活動を行っています。特に昨今では、孤立死の問題などからも地域のつながりが求められ、私たち民生委員・児童委員の果たすべき役割も重要になってきています。

今回のたよりの発刊により民生委員・児童委員の活動に関心を寄せていただき、身近なものに感じていただけたら幸いです。

今後とも地域に根ざした活動を目指してまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**質問** 民生委員の地区ってなに？

**お答** 民生委員・児童委員には地域ごとに組織があって、活動しています。その組織が、「〇〇地区民生委員児童委員協議会」(地区民児協)です。

泉区の民生委員・児童委員の場合は、12の地区に分けられた地区民児協にそれぞれ所属し、各地区でも特色を活かして日々地域に根ざした福祉活動を展開しています。

**質問** 私の地域の地区民児協はどのような活動をしているのかな？

**お答** 3ページ以降で泉区の全12地区民児協を紹介します！



**質問** 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動って？

**お答** ご家族の介護や育児のこと、ひとり暮らしで不安など、援助を必要としている人の相談を受け、福祉サービスなどに関する情報を提供したり、区役所や地域ケアプラザなどに必要な対応を促すパイプのような役割もつとめています。

  
もう少し！  
解説

ひとり暮らし高齢者の見守り活動や高齢者食事会の実施等、様々な活動をして地域の福祉の向上を図っています。

また、全ての民生委員は児童委員も兼ねていて、子育て支援活動も行っています。

各地区民児協には児童福祉のことを専門に担当している「主任児童委員」も2名ずついて、学校や各行政機関等と連携しながら、いじめや不登校防止の取り組み、個別家庭への支援を行っています。

**質問** どんなことでも相談できるの？

**お答** 「介護のこと、身近に相談できる人がほしい…」  
「子育てが不安…」こんなときには、地域の民生委員・児童委員にご相談ください。



  
もう少し！  
解説

介護のことや子育てのことなど、民生委員・児童委員は身近な相談役として福祉の向上のために活動しています。ご心配ごとがあれば、お気軽にご相談ください。

法律に触れるような問題や当事者間に利害損失のあるもの等、取り扱えないものもありますので、あらかじめ御了承ください。

**質問** 相談して秘密は守って貰える？

**お答** 民生委員・児童委員は法律で守秘義務が定められていて、相談内容を他の人に教えてはいけないうことになっているから、安心して相談できます。

  
もう少し！  
解説

民生委員・児童委員、主任児童委員は、「民生委員法」で「その職務を遂行するに当たっては、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守る」ことが義務付けられていて、相談内容に限らず、活動中に知り得た個人情報も守秘義務の対象です。

## 民生委員・児童委員に関するお問合せは？

泉区役所福祉保健課運営企画係 までご連絡ください。

電話：800-2401 FAX：800-2516

※ご相談の内容によっては、他の機関をご紹介します場合があります。





# 12地区 民生委員児童委員協議会 (略称:民児協)

## 紹介

### 中川地区



夏休み子ども座禅会

中川地区は19名の民生委員・児童委員と2名の主任児童委員、合計21名です。

中川地区は、昭和35年に戸塚区の中川連合町内会として発足した時、その範囲は、現戸塚区の名瀬・上矢部・秋葉・川上までも含めた大変広範囲にわたっていました。

昭和61年に戸塚区より泉区が分区した後、平成4年に中川地区より新橋地区及び緑園地区を分割し、現在の姿になりました。

そのため、この3地区はいわば兄弟の間柄です。

分割の折、「今後もお互い協力し合い、切磋琢磨してその任にあたらう」という事になり、それ以来毎年3地区合同の研修会と懇親会が行われています。今年も21回目の合同研修が6月に実施されました。

中川地区においても、少子高齢化の傾向は顕著に表れています。さらに、高齢者世帯及び核家族化によるひとり暮らし高齢者の増加は、孤独死等多くの課題を抱えています。中川地区としてこれらの課題改善に、他地区とも連携しながら、少しでも地域福祉の向上に寄与できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



高齢者一人暮らし食事会

### 緑園地区



講演を聴く参加者

緑園地区民生委員・児童委員は、男性1名、女性14名(主任児童委員2名含む)の若さとパワー漲る元気なチームです。

チーム一丸となり、助け合い協力できる地域作りに取り組んでいます。

まず、誰でも気軽に参加できる、大人の居場所「ふらっと」を昨年度開設しました。

今では参加者も増え、お互いを気遣う関係も生まれ、引きこもり予防、お互いの安否確認、そして、話し合う事による様々な不安感の解消等、居場所本来の担うべき機能の場になっています。

私たち民生委員・児童委員は、小地域という生活の場に居る事で、地域課題を自分達の問題として発見することが出来ます。

今後も、持ち前の若さとパワーと、団体間の強い絆を生かし、高齢者問題だけでなく、子育てや障がい者の課題についても、地域住民がお互いに助け合い協力し合える地域作りに積極的に取り組んでいきたいと考えています。



大人の居場所「ふらっと」



## 新橋地区



新橋敬老の集い

新橋地区では、8人の民生委員・児童委員と、2人の主任児童委員が委嘱を受けて活動しています。日々、委員の個々の主たる役割である、住民の皆さんからのいろいろな相談にのったり、求められる支援活動を行っています。

そのほかにも「新橋連合自治会」と「新橋地区社会福祉協議会」と連携して、地域の福祉の向上に取り組んでいます。

以下に、その主なものを紹介します。

毎年のイベントとしては、「敬老の集い」と、「アツテ祭り」があります。定期的なイベントとしては、子育て支援の「世代ふれあいサロン新橋」と「気軽にサロン」、「カレーを食べる会」、「刃物研ぎサービス」、「ふれあいサロン寺子屋パソコン」、「新橋自然観察クラブ」、「一人暮らし高齢者食事会」などの運営にかかわっています。



刃物研ぎ

## 中田地区



中田連合文化祭

中田地区民児協では、33名の民生委員・児童委員（主任児童委員2名含む）が活動しています。

地域福祉として「子育てサロン」を踊場地域ケアプラザをお借りして月一回開催していますが、毎回多くの親子が参加し、若いお母さん達の息抜きの場となっています。

また、地域の人達とふれ合うことを目的として毎年11月に開催される「中田連合文化祭」にも参加しています。

手作りの布ぞうりは先輩委員の方々より代々引き継がれています。女性委員による「みそおでん」やクリスマスリース作りの指導、男性委員は手作りおもちゃの指導など小さなお子さんから年配の方迄大勢の人達で賑っています。

特に一昨年からは中学生にもボランティアとして各コーナーのお手伝いをお願いしています。担当地域の活動も「高齢者サロン」の開催、自治会と保健活動推進員、友愛活動推進員を交えての「三者見守り会議」など、住民の良き相談相手として見守り活動を続けています。



子育てサロン



## しらゆり地区



ひとり暮らし高齢者食事会

しらゆり地区の民生委員・児童委員は9名（主任児童委員2名含む）で、活動しています。

しらゆり地区は、5つの自治会町内会からなる小さな地区となっています。そのため、あまり大規模な活動はできませんが、会員間の連絡を密にし、小回りのきく活動ができることを特徴としています。

また、保健活動推進員・地区老人クラブ・友愛活動推進員との共催による健康体操「すこやかくらぶ21」や子育て支援を目的とした「ひよっこ教室」、しらゆり地区社会福祉協議会との共催によるひとり暮らし高齢者給食会など、他団体との共同事業が多くなっています。

なお、しらゆり公園そばにある保育園「白百合愛児園」の園長先生は、この地域にお住まいで、しらゆり地区民児協の主任児童委員を兼ねています。そのため、しらゆり地区の子育て支援活動の推進には特に大きな力となっています。



ひよっこ教室（人形劇）

## 和泉北部地区



福祉バザー

和泉北部民生委員児童委員協議会（民生委員・児童委員10名、主任児童委員2名）は、主にいずみ野駅周辺の14自治会と瀬谷区に隣接する和泉三家・ひなた山周辺の4自治会から推薦された民生委員・児童委員から成ります。

毎年「ふれあいと連帯のまちづくり」をテーマにした多彩な行事を地区社協や連合自治会と共働して行っています。

今年7月下旬には、いずみ野小学校校庭を会場とする「いずみ野夏祭り」において「福祉バザー」を開催し、昨年同様に盛り上がりました。このほか、秋の「敬老のつどい」や年末には地域での「一人暮らし高齢者」「寝たきり高齢者」「障がい児童」への「タオル」贈呈を地区社協の援助で行っています。

今後とも、地域で住民との連帯感を強め、「向う三軒両隣 ふれあいのまち和泉北部」を目指して、住民に慕われる民生委員・児童委員活動に取り組んでまいります。



スタッフたち



## 和泉中央地区



十日会

和泉中央地区（民生委員・児童委員24名、主任児童委員2名）ではさまざまな活動を展開していますが、中でも重点をおいて大切にしているサロン事業についてご紹介をします。

ひとつが泉区誕生と同時に発足した「一人暮らし高齢者サロン 十日会」、もうひとつが今年の秋で3周年を迎える常設サロン「いこいの家」です。「一人暮らし高齢者の引きこもりを防ごう」をスローガンに、連合自治会、地区社協、民

児協が連携し、年10回手作りによる会食会を行っています。

これからの時代には一人暮らしの高齢者や地域における子どもたちの見守りの活動は地区民児協だけでは対応が困難になると、今から10年程度前に各町内会にサロン事業ができ、町内の役員、ボランティアのご協力により活発に活動されています。サロン事業が地域ぐるみの見守りに発展しつつあって、地域のご協力に感謝しています。

常設サロンは、どなたでもお気軽にお立ち寄りいただく「いこいの場所」です。各関係機関のご協力・ご支援のもと、今後も地域の皆様の交流の場づくりの活動をしていきます。



いこいの家

## 下和泉地区



八日会定例会

下和泉地区は、7町内会で連合町内会を形成している地区で、約2,100世帯以上を8名の民生委員・児童委員と2名の主任児童委員で担当しています。

以前から住まわれている方々や昭和40年代にこの地に移り住まれ、まちを支えられた方々

も高齢化してきている中で、先輩民生委員・児童委員を中心に始まった一人暮らし高齢者の食事会も、現在会員は40名・担い手20数名となり、年7回の食事会を行っています。

一方、区内でも早くから子育てサロンを立ちあげ、毎月1回実施しています。母親の育児相談や母親同士の交流ができる場として好評です。

毎月の定例会の他、隣接の富士見が丘民児協との年2回の合同研修会は、ここ十数年にわたって続けられ相互の情報交換と親睦が続く有意義な会となっています。さらに一人暮らし高齢者の見守り活動では、町内会や老人会等の各団体や機関のお力添えを頂き、連携を図りながら日々の活動にいそしんでいます。



準備中



## 富士見が丘地区



ふれ合い忘年会

富士見が丘地区民児協地域は藤沢市と戸塚区に隣接し、境川と和泉川の流域で田んぼや畑など緑が多くあります。

民生委員・児童委員9名と主任児童委員2名の11名で構成され、定例会は毎月20日頃実施し、区民児協報告の後、各々活動の事例発表などで情報の共有化を図り問題を一人で抱え込まないように対応しています。

当地区では他の活動団体との連携も強く、民児協が提案し、連合自治会・地区社協と実施する高齢者とのバス旅行やふれ合い忘年会は15年も続く楽しい活動となっています。

民生委員の活動はあまり表面に出る事はありませんが、当地区でも高齢化が進みつつあり、近年民生委員のなり手不足が問題となっております。来年、平成25年12月は民生委員の一斉改選期です。当地区での定数確保を目指した連合・単位自治会での準備取組みも急がれます。



田んぼとかかし

## 飯田地区



食事会

飯田地区民児協(民生委員・児童委員12名、主任児童委員2名)では、毎年、地区内に関わりのある事業所のケアマネジャー、包括支援センター、区役所との連絡会をしています。

今年7月には、「発生後1年を過ぎた東日本大震災」について意見交換をしました。

「電話ができないので担当している一人暮らし高齢者を訪問した。」「インターネットを利用しヘルパー同志の掲示板を立ち上げた。」「要援護者カードの再登録をした。」などの具体的な報告もあって協議し、見守り・安否確認の大切さを確認しました。

地域の取組は、民児協だけでなく、安心して生活できる環境づくりのために地区社協、自治会・町内会と互いに連携・協力して推進するよう話し合いました。

また、今後も地区社協と協力し、高齢者食事会・要援護者へのお花プレゼント・課題を持ちよる自主研修及び意見交換・ケアプラザとの協議会・施設訪問などの実施を通じて、地区内での福祉の向上のために活動していきたいと思ひます。



ケア・マネ連絡会



## 上飯田団地地区



フラワーアレンジ

上飯田団地地区は、平成24年3月現在で高齢化率が50%を超えて、ひとり暮らし高齢者世帯が40%以上と大変多い地区になっています。

民生委員・児童委員10名（主任児童委員2名含む）の構成ですが、一人ひとりが見守りをする人数も多いため、自治会の方々と日々連携を取り合いながら活動を進めています。

高齢の方々が家の中へ閉じこもらないように、集いあえる場所作りや、健康体操、小物作り、フラワーアレンジ、カラオケ、食事会などを工夫しながら行っています。

月一回の団地内での定期清掃時には、階段単位での見守り活動を実施しています。

ご近所同士が明るくあいさつをかわし、仲よく暮らし続けることが出来る地域作りをめざし今後も活動を続けていきます。



健康体操

## いちよう団地地区



獅子舞

いちよう団地地区は泉区の西側、境川を挟んで大和市と隣接する緑が多い場所に高層・中層住宅が形成される地域です。春には桜の花でピンクに染まり、秋にはいちよの葉の黄色で覆われる、環境豊かな暮らしやすい団地です。

いちよう団地地区の民生委員・児童委員は8自治会に選出された11名（主任児童委員2名含む）で構成され、

活動をしています。

現在いちよう団地は少子高齢化が急激に進む中、外国籍の住民との共生事業等を通じて支え合い・助け合い活動を構築・推進し、暮らしやすい地域を目指しています。

また、毎月の定例会を開催し、会長を中心に各自治会内のさまざまな問題等を意見交換、共有・連携をして解決策等を導き、安心して暮らせる地区になるよう取り組んでいます。

皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。



福祉まつり

### 編集 後記

このたび泉区民児協で初めて広報紙を発行する運びとなり、広報委員会で内容を協議して参りました。各地区民児協からも写真や原稿の執筆に御協力いただき創刊号が完成しました。御協力くださいました皆様にこの紙面をお借りして、感謝申し上げます。

今回は創刊号ということで、泉区の全地区を紹介するなど興味を持って読んでいただける内容となるように工夫しました。発行を通じて、民生委員・児童委員、主任児童委員活動を少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

広報委員 恩澤 忠男(中川地区)・丹羽 猛(新橋地区)・田中 京子(中田地区)・後藤 博美(富士見が丘地区) 題字/大貫 芳夫(泉区民児協会長)